

平成24年9月28日

北海道アルミニウム利用技術研究会 会員  
軽金属学会北海道支部 会員各位

北海道アルミニウム利用技術研究会  
会長 北原総一郎  
ホクダイ(株)取締役社長

## アルミニウム技術講演会のご案内

拝啓 初秋の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび北海道アルミニウム利用技術研究会の本年度第2回目の講演会と致しまして、ダイカスト金型をテーマとする講演会を下記のとおり開催することとなりました。

近年、北海道には自動車関連部品の製造工場が集積しており、アルミニウムをはじめとする金属材料の利用技術向上が求められております。本講演により技術力向上の一助となれば幸いと存じますので、北海道アルミニウム利用技術研究会会員のみならず、本講演に興味を持つ多くの皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

敬 具

### 記

開催日時 ; 平成24年10月25日(木) 14時30分~16時30分(質疑応答を含む)  
開催会場 ; 苫小牧市テクノセンター2階会議室(苫小牧市柏原32番地6 電話(0144)57-0210 代表)  
参加費 : 無料  
主催 : 北海道アルミニウム利用技術研究会、北海道立総合研究機構工業試験場  
共催 : 苫小牧市テクノセンター (社)軽金属学会北海道支部

演題 「ダイカスト金型の長寿命化と離型剤技術動向」  
講師 (株)アーレスティ 技術部 技術開発課 佐々木 英人 氏

### 概要

近年、ダイカストの品質、コストダウンの要求が非常に厳しくなっており、これまで金型に要求されていた「形状付与機能」、「熱交換機能」以外にもこれらの機能を長く維持させることが重要視されてきている。一方、ダイカスト鑄造における離型剤は、本来、金型が担うべき離型性と金型冷却を補完するために用いられているが、塗布時間による生産性の低下、水残り・離型成分からのガス発生による湯じわ・湯境・巻込み巣などの欠陥、金型の短命化などの悪影響を与えるため、「必要悪」的に捉えられている。そこで、金型と離型剤の両方の課題、あるべき姿を良く知り、うまく使いこなすことが重要であると考え、金型の長寿命化および離型剤の技術動向について述べる。

**参加の可否を別紙の申込票にご記入の上、FAXまたはE-mailにて(どちらか一方で結構です)10/12(金)までに事務担当者までご連絡ください。**

## 講演会参加申込票

連絡先；

北海道立総合研究機構工業試験場 材料技術部 板橋 孝至 宛

TEL 011-747-2981 FAX 011-726-4057

E-mail itabashi-koji@hro.or.jp

以下の者の参加を申し込みます。(締め切り 10/12(金))

講演会

開催日時；平成24年10月25日(木) 14時30分～16時30分(質疑応答を含む)

開催会場；苫小牧市テクノセンター2階会議室

(苫小牧市柏原32番地6 電話(0144)57-0210 代表 )

参加費 : 無料

演題 : 「ダイカスト金型の長寿命化と離型剤技術動向」

講師 (株)アーレスティ 技術部 技術開発課 佐々木 英人 氏

会社名 団体名	連絡担当者； お名前 E-メール		電話 ( )
参加者			
名前		所属または役職	

会社名・団体名の「連絡担当者」には、こちらから連絡する際のご担当者のお名前、電話番号、E-メールアドレスをお書きください。